



ゲストの菊池桃子さん。菊池愛あふれる話に、会場は盛り上がりを見せました

ピックアップ2 全国きくちさんサミット

菊池ファンクラブ初のリアルイベントを開催

菊池を応援する菊池ファンクラブの交流イベントが11月13日、市文化会館で開催されました。菊池ファンが集合し、トークショーやクイズショーで大きな盛り上がりを見せました。

【問い合わせ先】
観光振興課菊池プロモーション室 ☎0968(25)7267

菊池ファンクラブとは

全国に34万人いるとされる菊池（地）姓など、菊池一族ゆかりの人や菊池市出身者、市民を含む菊池に愛着を持つ人（＝菊池ファン）が、相互につながるための仕組みです。人口減少や少子高齢化が進む中、市内外から地域に関わる人を増やしていくことで、将来にわたり持続できるまちづくりを進めています。2年前にスタートし、会員数は3千人を突破しています。

菊池桃子さんが登壇 菊池への愛を語る

菊池ファンクラブでは初となる、人を集めての交流イベント「全国きくちさんサミット」が開催されました。ゲストには菊池つながりで、俳優の菊池桃子さんが駆け付け、トークショーに参加。本市への熱い思いを語りました。両親に小さい頃から本市がルーツだと聞かされてきたという菊池さんは「親戚に呼ばれたような不思議な気持ち」と笑顔で話しました。

他にも、過去に菊池深谷や菊池神社を訪れたエピソードや本市にふるさと納税をしていることなどが語られると、会場にいた会員の皆さんは驚きを見せていました。「関東での菊池のPRは任せてください」と宣言すると、会場からは大きな拍手が起りました。

菊池ファンクラブ
ホームページ
入会はこちらから



【第10回菊池米食味コンクール】1_受賞者や生産者の皆さん 2_15人の生産者がバイヤーと販売契約を結んだ 3_4_菊池市米飯官能鑑定士や専門家などが食味審査を実施 5_出品されたコメ。審査米は同じ条件で炊飯する

ピックアップ1 第10回菊池米食味コンクール

菊池米のさらなるブランド化を目指して

平成25年から始まった「菊池米食味コンクール」。おいしい米作りにかかる生産者の飽くなき思いは、菊池米のブランド化や販路拡大につながっています。

【問い合わせ先】
農政課ブランド推進室 ☎0968(25)7266

菊池のおいしいコメを世界へ

菊池は江戸時代から米どころとして知られています。菊池米が世界に求められるコメになるようブランド化に向け、生産者のさらなる意識高揚を促すことを目的に始まった「菊池米食味コンクール」。毎年、取引条件適合者はその場でバイヤーと契約し、九州や都内の百貨店などで販売され、販路の拡大につながっています。

今回も市の生産者が受賞！ 各種食味コンクール



【第6回九州米食味コンクールin宮若】福岡県宮若市のマリーホール宮若で開催。九州7県の121自治体から計1,234検体のコメが出品された

【第10回菊池米食味コンクール】229点が出品され、個人総合部門は堀田英臣さん（本村）の「にこまる」、環境王国菊池基準登録部門では西郷農苑（西郷）の「にこまる」が最優秀賞に輝きました。落部門では岩瀬・前川区が最優秀賞に輝きました。

【第6回九州のお米食味コンクールin宮若】1234点が出品。個人総合部門で古閑正光さん（瀬戸口）の「にこまる」が最高金賞、堀田英史さん（高田）が金賞、自治体部門では本市が準優勝に輝きました。市の生産者が最高金賞を獲得したのは初めてです。



1_菊池桃子さんがステージに姿を現すと会場は大歓声に包まれた 2・3_クイズショーでは菊池に関する問題を出題。ファンクラブの会員からも問題を募った 4_最後は出演者で記念撮影



第10回 菊池米食味コンクール
個人総合部門 最優秀賞
堀田英臣さん
良 い結果が出るのは励みになります。今後もお客さんに喜んでもらえるように、おいしいおコメを作ってまいります。



第10回 菊池米食味コンクール
環境王国菊池基準登録部門
西郷農苑
増永光俊さん
受 賞することができて、正直驚いています。これからも消費者の皆さんに安全・安心なおコメをお届けできるように頑張ります。



第6回九州のお米食味コンクール
個人総合部門 最高金賞
古閑正光さん
皆 さんの助けがあって受賞することができました。これからも水や肥料の管理を丁寧に行い、おいしいおコメを届けたいです。